

ロータスルート さあ、つながって行こう! みんなで花を咲かせよう!!

日蓮宗

正中山別院 護国山妙法華院

〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町4-5-8
TEL(078)575-2608 FAX(078)577-7651
kobe@myohokkein.jp

<http://www.myohokkein.jp/>

2025年(令和7年)1月1日発行
「ろおたす」からの〜通算423号 Vol.42

タンポポの洗濯屋

Dandelion Laundry Shop



れんこん坊主

イラスト

高川夕季

通勤

あなたの“すきま”時間を 読書で彩る

毎年恒例のお正月の初詣に、
キョウコとノリコは出かけた。
その帰り道に突如、大地震が襲う。
命とは?魂とは?貴方の『ココロ』に問いかける作品。

事実と虚構が織りなす短編小説。れんこん坊主先生の処女作第1弾!
イラストは京都芸大を卒業し新人漫画賞を受賞した新進気鋭の漫画家
高川夕季先生のゴールデンコンビがお届けします。

休み時間

就寝前

れんこん誌に待望の掲載!

定価 無料配布
寄付金は
随時受付中

※寄付金を頂いた方には
金額に関わらず本誌が廃刊に
なるまでお送りします。

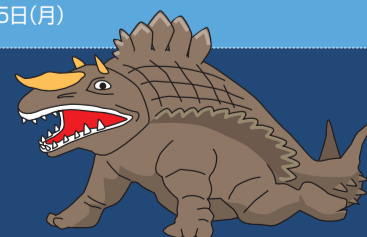
今この蒲公英を見候て
よしなき心おもいでて
憂くつらし
N 蓮 50代男性

淫樂を現す
而も美には滅度せず
常に此に住して
法を説く
S 迎牟尼佛 70代男性

おきらく日記 空からの贈り物

2024年11月25日(月)

知事選挙で斎藤さんが再選を果たしましたが、公職選挙法違反だったのではないかとまたまた騒がれ始めました。そして、おねだり疑惑もありましたね。 ちょっと考えてみたのですが…ご自分から、「これを送ってください」と言ったら確かにアウトかもしれません。しかし昔から土産や盆暮れの付け届けの風習はあるものだし、それがそんなに悪いものとも思いません。むしろそんな慣習や気遣いは、不景気の影響もあって最近では薄れてきています。公務員だからクリーンでなければならないのは判ります。しかしある程度の地位にある方なら、自分から要求しなくても送って来られる事は当然あるでしょう。芸能人の奥様が貰い物が多すぎて、自分の好きなものがナカナカ食べられないと嘆いておられました。送る方は相手に喜んでもらいたいのだから、当然その人の好みに合うものを送ってあげたいと考えるのも自然の心理。私の誕生日は12月10日です。好きなものはビールと書けば、これは「おねだり」になるのかな?



タンポポの洗濯屋



私の名前はキョウコ、普通の公立高校に通うツウの女子高生。パパとママは自営業で、洗濯屋を営んでいる。洗濯屋って言っても服のクリーニング店ではなく、心の洗濯をするお仕事なの。心の洗濯屋には毎日毎日働いた人たちが『ココロ』を持ってやって来る。『ココロ』を持ってやって来る。『ココロ』の形は人それぞれで、丸いものも有れば、角張ったもの。トゲトゲに尖っててちょっと手に持つのは痛い物もある。泥だらけになってたり、ペンキのような黒い汚れがべっとり付いて、ナカナカ白く綺麗にならない物もある。でもパパは毎日毎日一生懸命に、秘密の洗剤を使って『ココロ』洗っている。私も詳しくは知らないんだけど、この『ココロ』の洗剤がどんなにすごい汚れも落とすらしいの。

「近所の西友で売っている洗剤よりも落ちるのよ。パパの洗剤はまさしく本物の洗剤」って、笑いながらママが言っていた。

洗濯が終わったら、お客さんに連絡して取りに来てもらうんだけど、生まれたてのように真っ白で綺麗になった『ココロ』をお返しするって、曇っていた顔がみんなパァッと晴れやかになって、元気いっぱいの声で「ありがとう」って言ってくれるの。

どの人も軽やかな足取りで帰って行くわ。私はそんな両親の仕事を見て、ちょびり誇りに思う。

キョウコも将来は「お家の仕事を継いでも良いかな」って少し考え始めてる。

そんなある日、ちょっと変わった『ココロ』を持ってきた人がいた。持ってきたのはお母ちゃん。ママが受付している会話が、裏の部屋で勉強していた私の耳に何気なく入ってきた。

「私、初めて伺うのですが、ここは心の洗濯をしてくださるお店なんですかね」「ええ、そうですよ。毎日皆さんの傷ついた『ココロ』をお預

かりさせてもらっています」

「じゃあ、この『ココロ』も洗濯してもらえますか」「はい、良いですよ見せて下さい。あれえ、随分と小さいですね。今までこんなに小さい『ココロ』は見たことが無いわ。赤ちゃんでも、もうちょっと大きいし、不思議がるママの音が気になって、私も店の様子を覗いてみた。そしたら二〇歳ぐらいの綺麗な女性。「タメでしようか？」

不安そうな声でママに尋ねている。来る人はたいして他人の『ココロ』を預かってくる。だからお客さんの多くは、代理の人なので、その持ち主がどんな人なのか、何故傷ついたのかは尋ねないことにしている。でも流石にママも見たことのないような小さな『ココロ』だったので、申し訳なさそうにしながらも「失礼ですが、貴方の『ココロ』ではないですかね？」と尋ねた。

「お姉ちゃん、これは人間の『ココロ』なんでしょうか。実は飼っている猫の『ココロ』なんです」「紫蘇？」飼っている猫の名前がシシって言うんです。「あら、御免なさい。猫ちゃんの名前ね。シシちゃん。ウチは今まで人間の『ココロ』しか扱ったことがないので、出来るかしら？」お姉ちゃんは事情を話し始めた。

「実はシシちゃんはウチに来て、まだ間が無いんです。保護猫を引き取って来たんですが、前の飼い主かなりひどい虐待にあっていたようで、ナカナカ私に心を許してくれないんです。エサをやっても私の見ていない前では警戒して絶対に食べないし、無理に抱っこしようとする引掻いたり、噛みついてきたりして一向に慣れないんです」

「ごうい、だからこんなに小さな『ココロ』なのね。可哀そうに、こんなに汚れがすごくてびり付いているのも余り見ないわね。動物の心はやることが無いんだけれど、とりあえずお引き受けしましょう。じゃあ、連絡先をここに書いて下さい」

お姉ちゃんは小さな『ココロ』をウチに預けて帰って行った。また別の日は、小学校一年生ぐらいの小さな女の子がやってきた。この『ココロ』を綺麗にしても『ココロ』は、やはりママが今までに見たことのないような『ココロ』だった。

「小さな手から差し出された『ココロ』は、やはりママが今までに見たことのないような『ココロ』だった。うなもので、風が吹いたら飛んでいきそうだった。今にも千切れてしまいそうな程に細い。本当はもっと太いんだらうけど、傷つき瘦せて細くなっているのは私にでも判った。前のお姉ちゃんの時と同じく明らかに人間のものではない。ママが女の子に「もしかしてヘビの『ココロ』？」って尋ねた。

すると、その女の子は「タンポポ」って答えた。女の子の説明によると事情はこんな感じ。小学校に行く通学路にそのタンポポは咲いていたらしい。たくさん咲いているので花が終わった後の綿毛を吹いて飛ばしてよく遊んでいたんだって。するとある時アスファルトの車道の隙間から芽を出していた。女の子は花が咲くまではタンポポだと気づかなかった。たらしいんだけど、あるとき黒いアスファルトからひょっこり黄色いかわいらしい花が咲いたので気がついた。

ところが次の日に学校へ行く途中に、そのタンポポを見た車に轢かれてペシャンコになっていた。

次の日もその次の日も車に踏まれているようで、とうとう葉っぱが茶色になって枯れかかっていた。どこかに移そうと思って引張ったら根っここの所から千切れてしまった。そのタンポポの『ココロ』なんだと言う。

パパは女の子の為に一生懸命、か弱いその『ココロ』を時間をかけて丁寧に洗濯して、ママは傷を繕ったりした。

すると細かったその『ココロ』はまるで羽毛のように、ふわっと優しく膨らんだ。たぶん死にかけていたその『ココロ』が、新たに生命をみなぎらせて蘇生したことはキョウコにも判った。

ママは、それだけでなく持ってきた小さな女の子の『ココロ』も良くなるように祈りを捧げた。取りに来た時の女の子の嬉しそうな笑顔が忘れられない出来事だった。

髭のあるちょっとカッコイおじさんが、もってきた『ココロ』も変わっていた。大きさは私の手のひらよりはちょっと小さい感じ。平べったくて丸いんだけど、周りがトゲトゲしている。表面が本当はツルツルとしているんだらうけれど、油が固まったような感じで、凸凹になっている。ちょっとカビなのか、錆びているのか判らないけれど、へんな匂いもある。ママがなんとなくピンと来たみたいで「ウチで洗濯できる物かどうか、ちょっと主人に聞いてみます」と言ってパパを呼んできた。

「一目見るなりパパは不思議な言葉を発した。『お客さん、これは生き物の『ココロ』では無いんですね。』私は何を言っているのか、すぐに理解できなかった。

その日の夜に、パパから詳しいことを聞いてびっくりした。そのおじさんの持ってきたものは、時計の『ココロ』だっていうの。

「えっ、時計に心なんてあるの？生物ではないのに、私はパパに聞いた。パパは言った。「いいかい、キョウコ。心は生き物だけでなく、すべての物にあるんだよ。この食卓のテーブルも座っている椅子にも、今食べているハンバーグにも、そして料理がのっているお皿にも心はある。だから残さず食べたり、大切に使うってあげないとみんな傷つくんだよ。心は生き物だけでなく、全ての物にあるんだよ。ただ人間は自分の持っている物が傷ついたり壊れたりしたら、すぐに捨てて新しい物を買って求める。人間は新しいものを欲しがる性質を持っているんだよ。世の中のしくみも経済も、新しいものを売る仕組みになっていて、修理して使う方が高くて高くついたりする。新しいものを買った方が安いんだからね。だからウチの店にも物の『ココロ』を持って来る人なんて今までなかったんだ。」

パパは続けた。

「人間にもって来たおじさんの時計は古い柱時計の『ココロ』だったんだ。あの人はもともと神戸に住んでいたそう。子供の頃、お父さんやお母さんと家族仲良く暮らしていたそうなんだが、どうやら突然家が潰れて、お父さんが急逝したらしいんだ。その潰れた家の居間にかかっていた柱時計をお父さんの形見として大切にあげておじさんが持っていた。しかし動かない時計だったので長い間倉庫に置きっぱなしで、しばらくはその存在すら忘れていた。ところが年末の大掃除で倉庫を整理していたら出てきて、当時の事を思い出したそう。『ココロ』を見ただけでは判断できなかったんで、どんな時計の心だったのか、その時計の写真をを見せてもらったんだ。」

「じゃあ、この『ココロ』も洗濯してもらえますか」「はい、良いですよ見せて下さい。あれえ、随分と小さいですね。今までこんなに小さい『ココロ』は見たことが無いわ。赤ちゃんでも、もうちょっと大きいし、不思議がるママの音が気になって、私も店の様子を覗いてみた。そしたら二〇歳ぐらいの綺麗な女性。「タメでしようか？」

不安そうな声でママに尋ねている。来る人はたいして他人の『ココロ』を預かってくる。だからお客さんの多くは、代理の人なので、その持ち主がどんな人なのか、何故傷ついたのかは尋ねないことにしている。でも流石にママも見たことのないような小さな『ココロ』だったので、申し訳なさそうにしながらも「失礼ですが、貴方の『ココロ』ではないですかね？」と尋ねた。

「お姉ちゃん、これは人間の『ココロ』なんでしょうか。実は飼っている猫の『ココロ』なんです」「紫蘇？」飼っている猫の名前がシシって言うんです。「あら、御免なさい。猫ちゃんの名前ね。シシちゃん。ウチは今まで人間の『ココロ』しか扱ったことがないので、出来るかしら？」お姉ちゃんは事情を話し始めた。

「実はシシちゃんはウチに来て、まだ間が無いんです。保護猫を引き取って来たんですが、前の飼い主かなりひどい虐待にあっていたようで、ナカナカ私に心を許してくれないんです。エサをやっても私の見ていない前では警戒して絶対に食べないし、無理に抱っこしようとする引掻いたり、噛みついてきたりして一向に慣れないんです」

「ごうい、だからこんなに小さな『ココロ』なのね。可哀そうに、こんなに汚れがすごくてびり付いているのも余り見ないわね。動物の心はやることが無いんだけれど、とりあえずお引き受けしましょう。じゃあ、連絡先をここに書いて下さい」

お姉ちゃんは小さな『ココロ』をウチに預けて帰って行った。また別の日は、小学校一年生ぐらいの小さな女の子がやってきた。この『ココロ』を綺麗にしても『ココロ』は、やはりママが今までに見たことのないような『ココロ』だった。

「小さな手から差し出された『ココロ』は、やはりママが今までに見たことのないような『ココロ』だった。うなもので、風が吹いたら飛んでいきそうだった。今にも千切れてしまいそうな程に細い。本当はもっと太いんだらうけど、傷つき瘦せて細くなっているのは私にでも判った。前のお姉ちゃんの時と同じく明らかに人間のものではない。ママが女の子に「もしかしてヘビの『ココロ』？」って尋ねた。

すると、その女の子は「タンポポ」って答えた。女の子の説明によると事情はこんな感じ。小学校に行く通学路にそのタンポポは咲いていたらしい。たくさん咲いているので花が終わった後の綿毛を吹いて飛ばしてよく遊んでいたんだって。するとある時アスファルトの車道の隙間から芽を出していた。女の子は花が咲くまではタンポポだと気づかなかった。たらしいんだけど、あるとき黒いアスファルトからひょっこり黄色いかわいらしい花が咲いたので気がついた。

ところが次の日に学校へ行く途中に、そのタンポポを見た車に轢かれてペシャンコになっていた。

収入(円)	
志納金	0
寺債金	2,500,000
受取利息	0
収入小計	2,500,000
8月からの繰越金	10,312,296
合計	12,812,296
支出(円)	
志納金へ	0
返還金	1,800,000
振込手数料	0
支出小計	1,800,000
12月への繰越金	11,012,296
合計	12,812,296

翌月繰越金内訳
現金……………0円
りそな普通預金…11,012,296円
郵便振込金……………0円
合計……………11,012,296円

収入(円)		支出(円)	
志納金	679,000	借入金返済	1,500,000
現金		振込手数料	18,920
利息	2,612	支払利息	223,067
着手金戻入	798,160	工事代金支払い	40,902,483
雑費戻入	1,285		
自家納付増	3,000,000		
本会計より			
護持会より	1,200,000		
収入小計	5,681,057	支出小計	42,644,470
8月からの繰越金	51,347,137	12月への繰越金	14,383,724
合計	57,028,194	合計	57,028,194

翌月繰越金内訳
現金……………0円
播州信金普通預金…14,383,724円
郵便振込金……………0円
合計……………14,383,724円

枝澤 安子	九〇,〇〇〇円
清田 寛子	六〇,〇〇〇円
新聞 智孝	六〇,〇〇〇円
砂子 美子	一〇,〇〇〇円
御宝前・お供え	一〇,〇〇〇円
出口 勝巳	一〇,〇〇〇円
山本 満	一〇,〇〇〇円
小松原方起子	一〇,〇〇〇円
鈴木 律子	一〇,〇〇〇円
水尾 嘉基	一〇,〇〇〇円
中河 良子	一〇,〇〇〇円
中山 慎一	一〇,〇〇〇円
原 知子	一〇,〇〇〇円
藤本登美子	一〇,〇〇〇円
村上 照美	一〇,〇〇〇円
山本 昌代	一〇,〇〇〇円
御座飯店	一〇,〇〇〇円
兵庫東部布教師会	一〇,〇〇〇円
十月	一〇,〇〇〇円
相内 二三	一〇,〇〇〇円
安達 文紀	一〇,〇〇〇円
池田 一三	一〇,〇〇〇円
志水 克行	一〇,〇〇〇円
清田 宏樹	一〇,〇〇〇円
長尾 嘉郎	一〇,〇〇〇円
原 知子	一〇,〇〇〇円
全国布教専修師会	一〇,〇〇〇円
日蓮宗布教研修所	一〇,〇〇〇円
安立寺 木田隆正	一〇,〇〇〇円
圓覚院 田島耕正	一〇,〇〇〇円
延寿寺 藤本隆尚	一〇,〇〇〇円
宗林寺 廣崎本浄	一〇,〇〇〇円
雲山寺 菅野貴順	一〇,〇〇〇円
本誓寺 李 敏柱	一〇,〇〇〇円
法華寺 瓜田栄成	一〇,〇〇〇円
遠光寺 加賀美慶至	一〇,〇〇〇円
大蔵寺 文孝孝順	一〇,〇〇〇円
兵庫東部宗務所	一〇,〇〇〇円
十一月	一〇,〇〇〇円
相田 照子	一〇,〇〇〇円
大橋 一夫	一〇,〇〇〇円
小野 貴子	一〇,〇〇〇円
鎌田 秀美	一〇,〇〇〇円
小嶋 久代	一〇,〇〇〇円
小嶋 英生	一〇,〇〇〇円
笹部 都子	一〇,〇〇〇円
佐藤 整一	一〇,〇〇〇円
佐藤 久乃	一〇,〇〇〇円
田中美美子	一〇,〇〇〇円
中河 良子	一〇,〇〇〇円
水尾 嘉基	一〇,〇〇〇円
原 知子	一〇,〇〇〇円
諸田 健二	一〇,〇〇〇円
山崎 忠博	一〇,〇〇〇円
本誓寺 河崎俊宏	一〇,〇〇〇円
兵庫東部布教師会	一〇,〇〇〇円
寺報用トラ寄付金	一〇,〇〇〇円
愛染寺 遠藤光省	一〇,〇〇〇円
宗林寺 廣崎本浄	一〇,〇〇〇円
満座供養者	一〇,〇〇〇円
秋せがき	一〇,〇〇〇円
大井 彰	一〇,〇〇〇円
杉山 喜代	一〇,〇〇〇円
水尾 嘉基	一〇,〇〇〇円
西川 雄一郎	一〇,〇〇〇円
池本 晴美	一〇,〇〇〇円
中村 佑子	一〇,〇〇〇円
護持会	一〇,〇〇〇円
新聞 智孝	一〇,〇〇〇円
森本 晴美	一〇,〇〇〇円
十一月十四日まで拝受分	一〇,〇〇〇円

地下道を歩いていたら、フードを被ってランニングをしている人に追い抜かれた。雨でもなく寒いわけでもない。「なぜに地下？もうすぐ新開地。もしかして？」と思っていたら案の定、戻ってきた。私はうつむいて肩を震わせた。

それは1月1日。元日の出来事だった。私は親友のノリコと一緒に晴着を来て初詣に出かけていた。そんなに大きくはないが、正月と祭りの日だけは、地元で一番にぎわう近所の妙相神社。多少の屋台も出るのでもいつも食べ歩きするのを楽しみにして、私達恒例の元日行事。中学の時から続いているので、今年で5年目かな。

ノリコと帰り道にりんご飴を食べながら歩いていたら時だった。突然、地鳴りのような「ゴォー」という低い音が響いてきた。何の音かと頭で思った瞬間、足元がガクガクガクッと震えた。

地震だ！そのうちグラグラグラッと揺れが大きくなって慌てただけだと、地震はすぐに収まった。「ああ、怖かったね」「震度4くらいはあったんじゃない？」そんなことをノリコと話していた時だった。「ウウー」というけたたましいサイレンが鳴り響いて、町内放送が流れてきた。

緊急避難通報です。只今の地震により津波発生の危険性があります。すぐに高台に避難してください。繰り返します。町民はすぐに高台に避難してください。ノリコとどうするか相談していたその時だった。今度はさっきよりもさらに大きな不気味な地震音が聞こえてきた。

なんだか判らない恐怖心で、思わずノリコを掴む。「ナニナニナニ」とノリコが叫んだ瞬間、地中から「ドォーン」と突き上げられるような衝撃。大木が折れるような轟音が聞こえてきた。考える間もなくすぐに揺れは最高潮に達し、近くの気勝山がゴォーと重く鳴り響く、斜面の樹が激しく揺れて地面が波を打ち始めた。

「ギョアアア」ノリコと悲鳴を上げて、その場にうずくまる。コンクリートの電柱が折れて目の前に倒れ土煙が上がる。周りの家も轟音と共に傾いて倒壊した。何が起きているのかを考えると余剰もない。「このまま死ぬ」私の心は揺れが続く間、ずっとそう考えていた。「死ぬ死ぬ死ぬ」恐怖で頭は埋め尽くされていた。しばらくして揺れが収まるとノリコと私は奇跡的に助かっていた。「生きてる……」揺れで二人とも転がってしまっていたが、幸いに擦り傷程度で助かったけれど、着物は泥だらけ。

「死ね死ね死ね」周囲を見渡すと地面はひび割れて、電信柱が私達の直ぐ近くに横たわっている。お店のシャッターは屋根に押し潰されて捲れ上がり、横倒しになっているブロック塀や傾いているビルも目に飛び込んできた。ノリコと励まし合い、少し冷静さを取り戻したが、すぐにお互い自分の家の様子が気になった。「パパとママは……お店は……」

考えれば考えるほど不安は大きくなって、ノリコと一緒に駆け出した。がれきを踏み越えて電線に引っかかるらないように、注意しながら無我夢中で家に向かって走った。途中で焦げ臭い匂いがついて、目をやると朝市の会場の方で火の手が上がっている。「火事だ！これは大変なことになっている。ノリコは泣き出ししている。私もつられて悲しくなって心が締め付けられる。「誰かー助けて下さい。誰かーだれかー、家の中にまだ子供



がいるんです」女の子が泣き叫んでいた。ノリコと私は立ち止まった。女の子に話を聞くと潰れた家の中に、まだ女の子が取り残されているという。「タエちゃんという名前的小学一年生がとりに残されているらしい。」「タエちゃん、タエちゃん！」私達も潰れた家の隙間を覗き込んで女の子の名前を叫んだ。表通りの玄関は階段が覆いかぶさって入る隙間もない。私はわき道から家の裏手へ廻って見た。

割れた窓の隙間から真っ暗で土埃の匂いが立ち込める暗闇に向かって名前を叫ぶとした瞬間……泣き声が聞こえる。「痛いよう、痛いよう」か細い声だが、確かに女の子の声だ。「タエちゃん、タエちゃんだね？今お母さん呼んでくるよ」家の表にいたお母さんと呼んで来たものの大きな屋根や柱で押しつぶされて奥は真っ暗で全く何も見えない。タエちゃんの泣き声だけが、か細く聞こえる。

しかし私達の力では、どうにも助けようがない。周りの男の人に助けを求めるものの「助けてやりたいけど、重機が無いとどうしようもないな」と皆、途方に促されている。日も暮れかけてきて雪も降ってきた。私達もタエちゃんの事を助けてあげたいけれど、家の方も気にかかる。女の子は泣きながら「有難う。お家へ帰ってあげて、ご両親も貴方たちの事を心配しているだろうから」と言ってくれたので、私達もその場を後にして家に帰った。

幸いノリコの家もウチの洗濯屋のお店もひび割れたりしてはいたけれど、半壊程度で潰れるまでの被害は無かった。これなら何とか修繕して住みながらお店を続けられそう。パパとママにも大きな怪我は無く、私達家族は助かった。

後日、タエちゃんが亡くなった事を私は知った。お母さんから写真を見せられて、びっくりした。タエちゃんは、あのタンポポの女の子だった。私はパパに泣きながらそのことを報告した。それを聞いたママも涙した。

「命が無くなっても『ココロ』は残るんだ。タエちゃんは優しい綺麗な心の持ち主だったから、あの世に行ってもきっと先祖さんに可愛いがられてると思うよ」「でも身体が無くなってしまえば、もうパパの所に『ココロ』を持ってきて洗濯してもらえないよ……」

「キョウコ。確かに身体や物が存在していれば『ココロ』を取り出してウチで洗濯できるんだが、流石に肉体が減んだり物質そのものの存在が無くなれば『ココロ』を取り出すことはもう出来ないよ」「ただタエちゃんの『ココロ』を応援することは私達にも出来る」「えっ……それってどうするの……」

「供養してあげるんだよ。その人の事を想って手を合わせて成仏を祈ってあげる事だよ。もちろんタエちゃんのご両親も一生懸命に供養しているだろうけれど、祈ることはキョウコにも出来るよ」

それから私は毎日学校の行き帰りに、少し遠回りをしてタエちゃん家の前を通って手を合わせた。

少し前まで、家族団らんや楽しんで過ごしていた家。使っていた家財道具やランドセル・勉強道具、赤ちゃんの時の写真など両親にとっては全て大切な思い出の物ばかりなのに、地震を境に瓦礫という名のゴミに変わってしまった……なんて悲しいことなのだろう。私は毎日涙が溢れて止まらなかった。

数か月後、タエちゃんの家は瓦礫は全て取り除かれ、更地になった。そこにはいつしか雑草が生えるようになって、やがて緑で覆われた。私は東京の大学に進学することが決まり、「今日がタエちゃんに手を合わせる最後になるかな……」そんな想いで、タエちゃんの家の前に来て驚いた。

一面が真っ黄色に染まっている。なんとタンポポが敷地一杯に花を咲かせていたのだ。タエちゃんの『ココロ』は私を見て……そう思ったなら、また涙が止まらなくなった。私はパパとママの洗濯屋を継ぐことを心に決めた。

名前の漢字は「経子」「法子」「妙」。パパは釈迦如来、ママは多宝如来。洗濯屋はお寺、洗剤はお題目のイメージで書いてみました。最後までお読み頂き有難うございます。著者：れんこん坊主談



おきりく日記 新聞に載らない大事件 2024年12月2日(月)

顔なじみのある店に行ったら店員が皆で、しゃがみこんで床の拭き掃除をしている異様な光景。「ん？どうした？ガンリンか薬品でも撒かれたの。大事件か？」店長が眉をひそめて私の所にやってきた。「どうしたん？」「ご迷惑をかけてすみません。前のお客さんがウンコを踏んだまま入ってきたんです」そういえば、なんだか少し臭う。「ああダメだ！玄関マットも取り換えだ！」「このソファーもちょっとやばいかな？ちょっと臭って見て」「やですよ～」「まだある？」「あそこそこ」「さっき大きなのがあったよ。見る？」「見るワケないですよ」と、大騒動だった。その犯人は、店内を結構歩き回ったのだ……という足取りは、私にも掴めた。

和室を枯梗の間と名付けます タタミルーム使用の勧め

今年の改修工事で4階和室を大幅にリフォームしました。畳の表替と聚楽の壁を塗り替えただけでなく、和室を二つに区切ったために設置されていた角柱を取っ払い、この柱を抜いても構造上の問題はなかった。この工事で着脱可能な柱に変更し、今まで通りの使い方で34畳の大広間として使える空間を作り出すことに成功したのです。さらには机と椅子を護持会で買っていただきました。つまり皆さんの会費から購入したもので、檀家さんからの寄付です。座卓としてもテーブルとしても使える二刀流の品の良い机と和室向けの椅子を購入して、非常に使い勝手が良くなりました。お寺の和室として落ち着いた雰囲気はそのままで、法事の会食は足の悪い方でも利用して頂けます。またこれからは積極的に、企業やサークル等にも声をかけ、会議や研修会、講演会などで使っていただけなら嬉しく思います。

宿泊も可能なので、通夜だけでなく大学等の合宿も受け入れられます。シャワールームも新しくピカピカですよ。一般向けの使用料金は春までには詳細を決めます。会員さんは割引で使えますのでぜひ色々な形でお寺を積極的にご利用ください。

工務部

妙法華院檀信徒忘年会「12.14のついで」

兵庫の語りつごう戦争展「12.8のついで」

お会式速夜唱題行 11月22日(金) 午後5時~6時頃



ハスは花と果が 花実同時 闇夜の虚空(DOJO)唱題行



お会式報恩法要 11月23日(祝) 午後1時~4時頃



香風萎めるを吹いて新好の者を雨らす 法界寂靜にして唯妙色のみあり



河崎俊彦上人 逆修法号授与式(生前戒名)



岡崎氏→河崎師へ 河崎師→当選者へ 住職→その他衆生へ

兵庫区「兵庫の語りつごう戦争」展が、兵庫区永沢町4の妙法華院で6日、始まった。今年も学童集団疎開が始まる。

学童集団疎開先を地図に 妙法華院で「語りつごう戦争」展



令和6年12月7日神戸新聞

お会式

新年あけましておめでとございます。令和7(二〇二五)年乙巳年を迎えました。今年もよろしくお願ひ申し上げます。おかげさまで改修工事も無事に終了し、心新たに清々しく新年を迎えました。昨秋のご報告をさせて頂きます。

10月7日は全国布教専修師会の総会が当山で開催され、日本全国津々浦々より沢山の方々に来て頂きました。阪神大震災30年という節目なので神戸が開催地に選ばれ、当山で行うことになりました。ところが奇しくも能登地震が発生した事で、東日本の被災者にも来て頂き、三人をパネラーに震災のシンポジウムが執り行われ、有意義な研修会になりました。これが今回の「小説を書いてみよう」と私が思ったきっかけです。

お会式の速夜唱題行は、参加者が一人と少なかったのですが、厳かに営みました。当日の法要は30人ぐらゐの出席でした。入会下さり授与させて頂きました。特別法話は能登から河崎俊彦上人にお越し頂き、当時のお話と現在の状況をお聞きしました。困難な状況の中でも寺院としての役割はどうあるべきか。また信仰を持つ人の強さを感じられた内容の法話でした。当日の出席者には抽選で祖師からプレゼントが贈呈され、休憩の茶菓子には中山法華経寺参道の「とむら菓子舗」から法華富久餅を取り寄せて参加者全員で美味しく頂きました。

12月6日、10日は当山で恒例の兵庫の「語りつごう戦争」展が開催されました。今回は妙法華院の平和活動として師匠の足跡も展示。お寺としても先代の思いが伝わるように、ユーチューブのQRコードを貼って動画を見て頂けるように工夫しました。被団協にノーベル賞が授与されたのに、戦争展入場者は向に増えませんね。お世話される方の高齢化が進んでいます。

このように昨年も色々な事がありました。新たな出会いも沢山あって楽しい一年でした。本年は役員改選の年となります。春には先代の13回忌を営み、また新しいスタートを切ります。お寺はいつもチャレンジを続けています。皆さんにも積極的にご参加やお手伝い頂いて楽しい時間を一緒に過ごしませんか。

神戸・阪神の92校、人数や宿舍などをリスト化

学校(国公立)の歴史を調査し、妙法華院の歴史と照らし合わせ、各校の疎開先などを調べた成果を地図や表にまとめて紹介する。(田中真治)

新集め、親との面会制限… 「平和考える手掛かりに」

学校(国公立)の歴史を調査し、妙法華院の歴史と照らし合わせ、各校の疎開先などを調べた成果を地図や表にまとめて紹介する。(田中真治)

令和6年12月7日神戸新聞

おきらく日記 ミニーちゃん 2024年10月29日(火)

風のうわさで聞くところによると、私は兵庫中学の吹奏楽部で「ミニーちゃん」と呼ばれているらしい。先月の寺子屋で演奏してもらったから、生徒たちと知り合いなのであ〜。では何故、彼女らは(男子部員もいるが…)私の事をそう呼ぶのか。それはどーも、コンサートの中で女子生徒が被っていたミニーマウスのカチューシャを付けた事に起因しているらしい。馬鹿にされているのか、親しみを込めてそう呼んでもらっているのか、甚だ不安ではあ〜。…んがしかーし 私は後者だと、自分に言い聞かせて心の底から喜んでいる。

令和7年 寒修行行託鉢

1月15日(水)	元町コース	福原〜楠町〜元町〜新開地
1月16日(木)	兵庫コース	永沢町〜神明町〜兵庫駅〜大開通〜三川口町
1月18日(土)	長田コース	長田町〜片山町〜名倉〜房王寺〜下沢通
1月19日(日)	荒田コース	菊水町〜平野町〜平野町〜荒田町
1月22日(水)	西代コース	山下町〜日吉町〜二葉町〜御塚町
1月23日(木)	須磨コース	須磨寺〜御堂〜大寺町〜板宿
1月25日(土)	中央区コース	春日野道〜熊内〜琴緒〜中山手〜山本通
1月26日(日)	垂水コース	瀧の茶屋〜大町〜高丸〜五色山〜舞子台
1月28日(火)	西灘コース	王子公園〜上野通〜神ノ木町〜六甲道駅周辺

※一緒に歩きたい方は3日前までに連絡ください。

- ★予告記事
- ★唱題のついで
- ★修行会修了式
- ★護持会奉仕日
- ★護持会役員会
- ★運営会議
- ★節分星祭り
- ★寒修行の日程

私は経済とか株とかに非常に疎い。そこで子供でも打撃するために、子供から新NISAをやってみることにした。S&Pとかダウとか日経平均株? チンパンカンパンです。資産形成は貯金と年末ジャンボしか知らなかったのですが、少欲知足の教えに逆行しているのか、悩んでいます。

お寺が綺麗になつたついでに、その流れで食器や机、草木に至るまで断捨離を行いました。1人で作業していることと捨てるか置くか迷うものがある。お寺に頂きます人数で相談しながら行いました。やってみるとスッキリして気持ちが良いものです。これをきっかけに私物作業にも突入しました。また必要な物が来るかも。と数年も迷って来ましたが、ほほほほほほほほほほ(笑)皆さんも始めてみませんか。子供に迷惑かけないよう! 【陽子】

毎年新しい手帳の使い始めはキレイな字を書こうとして頑張ります。しかし日々が進むにつれて字は徐々に崩れて読みにくくなり、2月に入る頃には自分だけが読める手帳に(念)落とした時が読める方が秘密性に優れていますよ(念)決して字が汚い言い訳ではありません。今年も宜しくお祈りします。 【清水】

漫画やイラストをたくさん描かせていただきまして、今年は充実した一年になりました。来年も節目の年となりそうです。治安や体調に気をつけてながら、良い年になりますように願っています。 【高川】